

開催のご挨拶

「SPODフォーラム2022」によろこそ。四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（通称：SPOD）は、高等教育の質保証を図ることを目的として、平成20年に設立されて以来、高等教育のプロフェッショナルを輩出するためのさまざまな取組を行っています。毎年のSPODの最大のイベントであるSPODフォーラムは、教職員の能力開発のための実践的な数多くのプログラムを提供しており、参加者に学びや経験を深めていただくとともに、設置形態にとらわれない組織を越えた相互交流の促進やネットワークづくりの場となっています。

今年度のSPODフォーラムのテーマは、「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」です。急速に変化する社会において、大学は学生に対してどのような学習の機会を提供したらよいか、そのために大学は教職員に対してどのような学習の機会を提供したらよいかなどを考える機会になればと考えています。特に2日目のシンポジウムでは「個別最適化された教育・人材育成の実現」のテーマのもと、3名のシンポジストらにより教育や教職員能力開発の方法と課題を議論する予定です。また、昨年度より多い37の個別プログラムを準備させていただきました。さらに、ポスターセッションや情報交換会も実施いたします。

昨年度に引き続き、オンラインでSPODフォーラムを開催いたします。SPODコア校である香川大学、徳島大学、高知大学の教職員のみなさまには、SPODフォーラムの企画においてアドバイスをいただくだけでなく、ウェブ会議システムの運営にもご協力いただいています。

SPODフォーラムのプログラムの詳細は、シラバスを掲載しておりますのでそちらをご覧ください。関心のあるテーマのプログラムが見つかるのではないかと考えています。本フォーラムをご活用いただき、それぞれの大学での教育改革の促進につなげていただけることを心より願っております。

SPOD企画・実施統括者

中井 俊樹（愛媛大学教育・学生支援機構 教授）